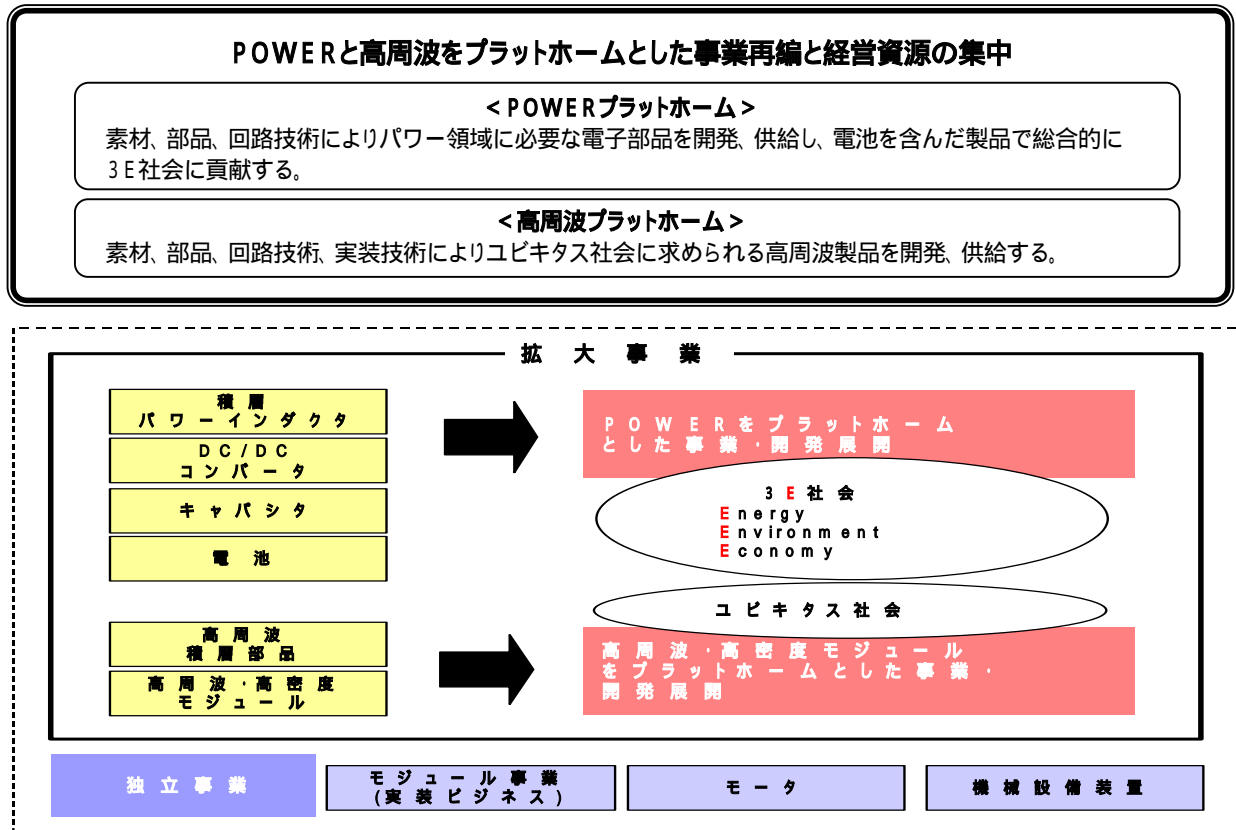


FDKグループの成長に向けた新たな方針と施策

FDKグループは、現在および将来の市場環境が変化する中で、安定した経営と更なる成長のために、引き続き改革を実行してまいります。そのために、当社の保有する技術を最大限に生かすべく中期的な方向付けを明確にし、注力すべきプラットフォームに経営資源を集中してまいります。今後の方向付けと具体的な施策については、以下のとおりです。

1. FDKグループの成長に向けた新たな方向付け



2. 主要施策

(1) POWERと高周波をプラットフォームとした事業の強化

これまで当社は総合電子部品企業としてさまざまな製品展開を行なってまいりましたが、より競争力のある事業展開のため、POWERと高周波に集中したビジネス展開を行なうこととし、以下の製品を強化いたします。

< POWERプラットフォーム >

積層パワーインダクタ

磁気・素材技術、積層技術を活かした特徴ある部品で世界の携帯電話用パワーインダクタのデファクトスタンダードとして市場シェアNo.1を目指す。更に、大電流用の開発を促進し、適用分野を拡大する。

DC - DCコンバータ

通信、WiMAX、サーバ、ストレージ、車載、薄型TV等市場は拡大しており、大手顧客を中心に拡販活動を加速し、市場に展開する。

キャパシタ

大型瞬低補償装置向け蓄電システムの早期製品化を他社との共同開発により実現し、更に車載分野等への適用を拡大し、事業規模拡大を目指す。

電池

アルカリ乾電池を主力製品におき、更なる生産効率化と販売強化をおこない、シェアを拡大する。

<高周波プラットフォーム>**高周波積層部品**

独自の素材技術、微細加工技術をベースに高性能な複合高周波部品(バンドパスフィルタ、ローパスフィルタ等)を中心とし拡大を図るとともに、高周波モジュールとのシナジーを提供してゆく。

高周波モジュール

高周波回路技術、高密度実装技術を更に向上させ、自社開発の高周波積層部品の強みを生かし、高周波モジュールビジネスを拡大する。更に、他社とのパートナーシップ体制を強化し、携帯電話トップメーカをターゲットに事業化を進める。

(2) モジュールシステム事業およびモータ事業

モジュールシステム事業、モータ事業については、独立事業として採算を重視しそれぞれ組織の簡素化と独立性を高めることでよりスピーディに事業の運営を図ってまいります。

モジュールシステム事業

国内における組立実装ビジネスの独立、分社化をおこなう。

モータ事業

子会社に営業権を譲渡し、販売面を含めて独立させる。

(3) 他社とのアライアンスの強化推進と拠点整備

当社グループが持てる技術の強化を図るために、積極的に他社とのアライアンスを進めてまいります。また、ワールドワイドに展開した拠点の採算化を進めてまいります。

3. 2010年の経営目標

今回の施策は、当社技術をベースとした付加価値の高い製品への事業を軸に、これまでの事業の再編を行なうものであり、売上規模拡大ではなく利益の創出を目指しております。

当社グループは2010年の経営目標を以下のとおりとし、この目標を達成すべく努力いたします。

売上高	1,150億円
営業利益	80億円 (営業利益率 7%)

以 上